

自由民主党「バス議員連盟、タクシー・ハイヤー議員連盟 合同総会」の開催について

令和3年5月11日（火）、憲政記念館において、自由民主党「バス議員連盟」「タクシー・ハイヤー議員連盟」合同総会が開かれ、コロナ禍で苦境に喘ぐバス・タクシー業界存続のための支援策の継続等について活発な議論が交わされました。（衆・参あわせて88名の先生がご出席）

日本バス協会からは三澤会長、石川副会長、山口副会長、石指理事長及び、内藤東京バス協会理事、内波東京バス協会理事等が出席しました。



冒頭の両議連会長（逢沢先生（バス議連）及び渡辺先生（タク・ハイ議連））からのご挨拶に続き、日本バス協会からは、三澤会長及び石川副会長が、バス業界の厳しい現状を訴えるとともに、事業の存続に不可欠な雇調金特例措置を延長することなど各種支援措置をさらに拡充するよう強く要望しました。タクシー業界からも同様の説明・要望がなされた後、国土交通省祓川自動車局長からは、ワクチン接種へのバス・タクシーの活用事例が増えてきていることのご紹介に加え、さらなるバス・タクシーの活用に向け、地方自治体

に対して地方創生臨時交付金や厚労省補助金を活用することを強く働きかける必要があることが述べられました。

ご出席された先生方からは、地域の生活と産業を支える公共交通機関の重要性に鑑み、バス・タクシー業界の各種要望を力強くご支援いただける旨の発言を数多くいただきました。

【出席のバス議員連盟の先生方：衆議院議員・参議院議員あわせて67名】